

第18回 学校開校準備委員会のご報告

令和5年2月28日（火）第18回学校開校準備委員会を開催しました。今回は校章デザインの決定や校歌の検討、PTA、就学定員などを扱い、進捗の確認や意見交換を行いました。

校章デザイン案が決定しました！

校章については、榎尾中学校区の児童生徒の思いやアイデアを形にしようと、デザイン案を考えてもらうところからスタートしました。

最終4つの案について、校区3校の児童生徒を対象にアンケートを行い、その結果を踏まえ、（仮称）榎尾学園の校章として右図のデザインに決定しました。

榎尾中学校、横山小学校、南横山小学校の校章をモチーフに、各校の校章にある「横山小学校の桜」、「南横山小学校の山」、「榎尾中学校のみかんの葉」を取り入れ、全体のバランスをとるように榎尾学園の「榎」を真ん中に置いた作品です。



校章原案：横山小学校 6年1組 眞木 湖羽さん

校歌について

（仮称）榎尾学園の校歌の検討スタートにあたり、進め方の確認・意見交換や他校の事例の共有などを行いました。今後、令和5年度での完成をめざし、進めていく予定です。

【意見交換での声】

- ・歌詞に入れたい言葉を児童生徒から募集するのが良いと思う。
- ・卒業生も多く、今の校歌への親しみもあると思う。榎尾中の校歌を新しい校歌に活かしていくことも考えられる。
- ・作詞者や作曲者は、校区や和泉市出身の音楽家から見つけてはどうか。
- ・1～9年生が歌うことや、曲の長さなども作る時の観点になる。

【完成までのイメージ】

- ①児童生徒から歌詞に入れたい言葉、フレーズ等を募集
- ②作詞者、作曲者の選出
- ③作詞、作曲

- ・ゆかりのある作詞・作曲のできる方
- ・和泉市の教員
- ・専門の方
- ・児童生徒の創作活動にて など

PTA について

新しい学校の開校にあたり、PTAのあり方や現在のPTAからの移行などを考える時期にきています。今回は、開校までに調整等が必要な事項の確認と現在の取組み等を確認しました。

検討事項

- ①規約内容
- ②組織構成（役員、運営委員、会員など）
- ③会計・清算について
- ④次年度合同の取組み



- ・現榎尾中学校の規約をベースに各項目の確認
- ・③清算については、どのタイミングで決定するのか
→ 閉校式の予算は？繰越金は？など
- ・④はどのタイミングで決定するのか

就学定員について

特認校である（仮称）槇尾学園の就学定員について、これまでの地域等の意見なども参考に教育委員会にてまとめた基本方針を説明・共有しました。今後、この方針のもと児童生徒募集などを進めていきます。

就学定員及び学級編制の基本方針

- ・少人数指導体制を特認校の大きな魅力・特色に
- ・南横山小学校での少人数指導の成果を継承
- ・少人数指導体制を確保しつつ、1学年2学級を確保

就学定員及び学級編制

- ・1学級20人程度の2学級編制（1学年の上限46人）
- ・1学年の人数が23人以下の場合は1学級
- ・支援学級籍は地元支援籍児童生徒が22人未満かつ当該学年に、支援籍児童が4人未満の場合、協議可

【質問】 1学級20人以下や学年が20人の場合でも2学級にすることなどを求める声もあったが、そのようにはせず、今回の内容で決定ということか？

【市回答】 教育委員会では、そういったご意見やできるだけ多くの子どもが集まった方が良いといったご意見なども頂戴しながら、他校にはない少人数制や教育的効果など総合的に検討し、今回の内容をまとめました。今後、この方針のもと児童生徒募集などを進めていきます。

その他 検討事項について

検討・調整を進めている各事項について進捗状況を説明し、意見交換を行いました。（以下、主な内容）

①制服について

【市より】新しい制服の購入が可能となりました。一部販売店からは「新しく買う人は、ほぼ新しいタイプの制服を購入している状況」という声を聞いています。

②学校指定品等の検討について

- ・指定品は値段が高い傾向にある。色や形の指定で自由に買えるのがいいのでは。
- ・横山小の黄色の通学帽は目立って、安全面ではいい。高学年では着用に抵抗を持ち始める様子もあるので低学年は指定、高学年からは自由というのも考えられる。

③教育内容について

【質問1】児童生徒を集める魅力として、どんな教育を考えているのか？

【市回答1】少人数指導体制、1年生からの英語教育、地域を教材とした「槇尾学」、先進の教育のモデル校、自然や南横山小などを活かした自然体験、まずこれら5つを柱として学校と共に検討を進めています。

【質問2】南横山小学校の使い方の検討状況は？

【市回答2】教育的活用をしていくことは既に説明してきておりました。現在は具体的な使い方などを検討しているところです。一方で、地域としての使い方についても検討中であり、関係課と連携しながら行っています。検討状況や内容をご説明できる時期には改めて意見交換をしたいと考えています。

④コミュニティ・スクールについて

- ・制度としてまだよく分からないが、学校がやってほしいことをもっと町会に話してもらえれば、できることなら手伝っていきたくて考えている。

⑤今後の進め方について

【市より】開校が近づき、学校・PTAが中心になり検討・準備する事項が多くなってきます。市は引き続き、学校とも連携しながら魅力づくりや施設整備、通学対策、児童生徒募集などに取り組んでいきます。



ニュースレターをメール配信中！

このニュースレターの受取りを希望される方は、右記 QR コードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。



【お問合せ】

教育・こども部 教育総務課 〒594-8501 和泉市府中町 2-7-5 (TEL)0725-99-8196 (E-mail) m-junbi-iinkai@city.osaka-izumi.lg.jp